

## 第20期 埼玉労山登山学校

「第8回雪山入門」を受講して

第20期 池田 稔 記

5月から始まった「第20期 登山学校」もいよいよ最終講座、同期生と学ぶ最後の機会となり、寂しいなどの感傷に浸りつつ上越線土合駅に到着しました。しかし、上越線土合駅は「日本一のモグラ駅」と呼ばれ486段もの階段を自力で登らなければ表に出ることが出来ない地獄のような駅、さすが登山学校！駅で準備運動を完了させてしまうとは（笑）

### ○第1日目（天神平）

今年は例年に比べ雪が少ないため、ロープウェイを利用して天神平で雪山入門が実施されました。「スノーシュー体験」、「シリセード体験」、「つぼ足・ピッケル歩行体験」、「ワカン・ラッセル体験」を各運営委員から指導を受けました。スノーシューは、踏み跡の無い新雪の緩斜面をズンズンと進んで気持ちが良い、新雪の深雪に威力があることを認識しました。シリセードは、雪面に尻を付き足を上げバランスを取りながら滑り台の要領で下山する方法で、危険も伴うものですが、安全？な斜面で行ったそれはもう楽しく、班員皆で童心に帰りました。つぼ足は自重で埋もれてしまう足をピッケルや膝、足で蹴りこみ斜面を登下降、地道な作業ですが雪山登山には欠かせない基礎的動作であることを認識しました。特に雪山でピッケルを持った姿は一人前の登山家気取りで気分がとても高揚しました。ワカンは、スノーシューと比較して軽量で取り回し易く、斜面ではサクサク進む感じをうけました。運営委員の皆様には、学生に体験させるため各種道具の搬入や休憩時には温かいお汁粉まで用意して頂き、有難う御座いました。本当に美味しかったです。



危険も伴うものですが、安全？な斜面で行ったそれはもう楽しく、班員皆で童心に帰りました。つぼ足は自重で埋もれてしまう足をピッケルや膝、足で蹴りこみ斜面を登下降、地道な作業ですが雪山登山には欠かせない基礎的動作であることを認識しました。特に雪山でピッケルを持った姿は一人前の登山家気取りで気分がとても高揚しました。ワカンは、スノーシューと比較して軽量で取り回し易く、斜面ではサクサク進む感じをうけました。運営委員の皆様には、学生に体験させるため各種道具の搬入や休憩時には温かいお汁粉まで用意して頂き、有難う御座いました。本当に美味しかったです。

○第2日目（土合山の家～一ノ倉沢出合）天候にも恵まれ最高のトレッキング日和となりました。それぞれの班編成で湯檜曾川沿いから一ノ倉沢出合を目指してスタートです。個人的には30数年前に訪れた一ノ倉沢出合に行けることが非常に嬉しく楽しみにしていました。最初は順調に進めていたルートも次第に踏み跡も無くなり、いよいよラッセルで進まざるを得なくなりました。スノーシューを履いた運営委員と学生が先を進み、その後についていくこととなりました。私たち4班は先頭を進んでいたため、男性陣で順番に前日講習を受けたラッセルを行いました。平地でも体力を消耗するラッセルですが、途中からかなりキツイ斜面を進むこととなり、10歩程度で息が切れてしまいます。途中から後ろの班を眺めながら「誰か変わってくれ〜・・・」と泣き言が出てしまいました。そんな苦労を重ね辿り着いた一ノ倉沢は昔見たままの本当に綺麗な山容でした。2日間の雪山入門はとても充実した内容であり、貴重な体験でした。これもひとえに運営委員の皆様のお安全管理がしっかりしているからこそ体験出来るのであり決して初心者では行えないものです。また、雪が少ないとの判断で臨機応変にロープウェイを利用し天神平で講習を行って下さる等の配慮、有難うございました。良い登山者はその都度与えられた状況の中で適時適切、臨機応変に対応できなければならないということを運営委員の皆様を見て学びました。これからは登山学校で学んだことを糧に謙虚に山に向き合いたいと思います。今までご指導頂き有難う御座いました。

## 雪山入門

2班 板橋 理曜 記

H28年1月9日(土) 谷川岳 天神平スキー場 土合山の家

20 数年前、3年間の専門学校時代を過ごした新潟。懐かしい上越線・長岡行きに乗り、土合駅へ着いたのは9時56分。もぐら駅の500段近い階段を登り地上へ。暖冬の影響で雪が少なく、場所を白毛門駐車場から天神平スキー場に変更。スキー場へはバスを利用するのに停留所は見当たらず、ヒッチハイクのように挙手をすると何と停車！さすが、関○交通!?天神平ではスノーボーダー達を横目に、班ごとに分かれて雪山練習がスタート。ラッセル、ツボ足、ピッケルの使い方、ワカン、スノーシューなどなど。動く暑いのは覚悟していましたが、思った以上に疲れるものですね。甘塩っぱい汁粉が、身体に染みしました。シリセードでは加速されて、何故か着地姿勢がうつ伏せに。顔面を雪に埋めたのは、小学生以来。楽しくて笑いが止まりませんでした。しかし、運営委員の3人娘(!)に突っ込みそうになったらしく、おのかせてしまったようです。申し訳ありません。宿ではビーコン体験。なかなか見つけられず、隣室やトイレなどに入っては無いと分かると探すことを繰り返していました。本来は命に関わり、時間との勝負であることを忘れないようにしなければならぬと思いました。私的な感想ですが、この日のベストドレッサー賞は八木原講師！ネパール帽とフリースの柄物同士の組み合わせが素敵でした。

H28年1月10日(日) 一ノ倉沢出合→マチガ沢出合→土合山の家

山の家から一ノ倉沢出合を目指し8時過ぎに出発。早出です。屋根の下には氷柱がいくつか見られていました。久しぶりの雪歩き。足裏全体で踏んでいくことを心掛けながら、慎重に進むと雪原へ。なだらかな道が続くかと思いきや、想定外の急斜面へ突入。必死にツボ足とピッケルでバランスをとりながら登っていると、ガイド犬?!と外国人女性に遭遇。山での出会いは面白いですね。ちょっとした国際交流?をした後は、雪山の絶景が待っていました。一ノ倉沢の岩壁、白毛門などのイケメンの山々にノックアウト。実は、親類や知人からは雪山禁止令が出されていました。が、雪山の美しさを知ってしまったので、好条件を狙って無理のない山へ行くのもいいなあと考えています。全員が無事に下山し、宿の前で昼食を取り登山学校での最後の山行が終了。これまで、運営委員の方々や20期生の人達に支えられてきたけれど、これからは少しでも支える側になれるのだろうか?3月には職場の人達と宝登山に行くことになった。まずは、身近な人と山の楽しさを一緒に感じることから始めてみよう。また、誰かとの競争でなく自分のペースで山行を続けていきたい。「昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分」が成長しているのかを確認しながら。目標は「みちのく潮風トレイル」の踏破。実家の宮城県を含む東日本大震災の被災地・沿岸部、完成すれば700キロのトレイル。この目で復興する姿を見たいと思う。

また、何処かの山で元気な皆様にお会いできるのを楽しみにしております。本当に、ありがとうございました！

